

遠隔画像診断サービスで 診断精度を向上、 地域医療の問題を解決

遠隔画像診断システムを開発し、医療画像読影サービスを提供。地域医療機関とのネットワークを構築し、地域医療の問題を解決。

所在地：熊本県熊本市北区飛田3-10-21
TEL 096-342-7878
FAX 096-344-0202
URL：<http://www.ysreading.co.jp/>

代表取締役 中山 善晴
設立：2007年(平成19年)
資本金：2,050万円
従業員数：9名



遠隔画像診断システムを構築し、読影サービスを提供

同社は、地域の医師不足、医療格差を是正するため、遠隔画像診断システムを開発し、医療機関とのネットワークを構築、運営している。

CT や MRI の画像診断ができる専門医は全国的に不足している状況にあって、このシステムの運営事業によって、医療の地域間格差、専門医の不均衡等の是正を目指している。

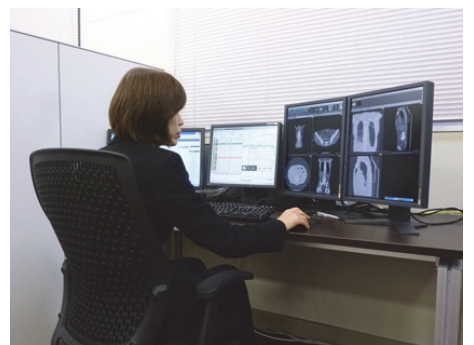
医師・病院と受診者双方にとってメリットが大きく、新しい地域医療の構築が期待される。



画像診断の病診連携で診断精度を向上、読影医の負担も軽減

病気の早期発見・治療にとって画像診断は重要にもかかわらず、地域の個人病院はもちろん中核病院においても専門医は少なく、医師の技能の格差も大きい。そこで、質が高く安定した遠隔読影システムを開発、熊本大学と連携した一次読影専門医と専属専門医のダブルチェック、複数の医師の意見を反映して病変の見落としのないレポート提供を可能にした。

読影医が地域病院に出向くなどの過重労働を軽減でき、依頼する病院では専門医確保の負担軽減や業務の平準化が可能になるなど、双方の課題を解決するビジネスモデルである。



読影専門医の育成に貢献、地域医療の課題解決にも寄与

若い医師や医学生の育成を行っている他、出産等で勤務を断念せざるを得ない女医の経験や専門知識を自宅で活用できるなど、専門人材の有効活用、雇用環境改善も期待できる。

また、地域の医療を地域で支え合う仕組みづくりを志向し、さらに健康診断の評価の受託等にサービス範囲を拡大しようとしており、医療サービスの均質化、僻地医療の格差・医師の過重労働の是正等、この事業の社会的な貢献は大きい。

